



社会福祉法人

# いのちの電話【東京】

vol.  
**155**  
2016.6

## いのちの電話、スマホ、 そして、いのちの電話

林 義子 氏

社会福祉法人 いのちの電話理事  
(いのちの電話創立時メンバー)



### 初めに

1971年に設立された「いのちの電話」は、誰にとっても一番大切な「いのち」を互いに支え合い、助け合おうという趣旨で設立されました。ボランティアが中心の組織で、この45年間に全国にひろがって活動をしています。東京いのちの電話は毎日24時間、電話をかけることができます。いつでも、どこからでも、誰でもかけることができます。東京センターの場合は、話し中が多く、なかなかかからないと言われ、課題の一つになっています。

専門家でもなく、特別な資格を持っているわけでもないボランティアが、隣人の一人として、電話を担当していますが、「聴いてほしい」、「だれも聴いてくれない」などなどの思いの人々に向き合い、少しでも支えあうことができるように、相手に耳を傾けています。最近、ほとんどの人が携帯を持ち、電話としての機能が以前より多種多様になっていますが、「いのちの電話」の持つ特有な役割は、時代が変わり、社会が変わっても創立当時と変わら変わることはありません。

見ず知らずの二人が、誰に邪魔されることなく、直接耳と耳を通してかかわること。このようなかかわりは、顔と顔を合わせてのかかわりに勝

るとも劣ることはありません。直に自分の耳に入ってくる言葉を注意深く聴くこと。その瞬間の集中力は相手にも伝わり、お座なりな対話の域を越えて、より深いかかわりへと導かれていくこともあります。「聴いてほしい」とか「わかってほしい」と訴えてかけてくる人々の心のなかに、このような真剣なかかわりを求めている場合が多いのですが、わたくしたちの毎日の生活の中で、その機会が不足しているからと言えないでしょうか？

電話でも「もしもし」から始まりますが、相手が誰なのか？ゼロの関係から始まります。何気ない言葉を交わすことから始まったり、いきなり本論に入るようなこともあります。また、長い沈黙を越えてやっと始まることもあります。しかし、二人の繋がりはだんだんと近くなり、本音でかかわることを可能にします。そのような環境を、場を作ることが電話を通してできるのです。もちろんいたずら電話もありますし、作り話、そして相手が一方的に話して終わることもあります。本当に聴いてほしい望みを持ってかけてくる人にとっては、いままでこころの底に貯めていた思いが自然に、自由に出せるかかわりへと導かれます。そこで、自分がどれほど一人相撲をしていたか？自分の言葉で話し、他者に聴いてもらえることがどれほど大切なことか！という体験をする場といえると思います。より自由な雰囲気なかで、自

分自身を見つめ、自分を理解する、受け入れることができる体験の場でもあるのです。

### スマホと車中文化

電話は現在もわたくしたちの日常生活に欠かせない便利なコミュニケーションの道具ですが、最近、IT産業が生み出したスマホが固定電話に取って変わる役目を果たしているようです。その勢いは強く広く拡がり、新しい文化をわたくしたちの生活と社会にもたらしているのではないのでしょうか？人と人とのかかわりの面からいうと、いままでよりも短く、軽いかかわりになり、ゆっくりと相手とかかわるよりも、一方的に言葉を発するに過ぎないこともあるでしょう。特に、こどもたちのスマホによる関わりが、度々いじめに発展している状況は気になります。わたくしは度々電車を利用していますが、そこで展開されている情景は「スマホ文化」と呼ぶことができると言えます。中高生たちが4、5人グループになって、帰りの電車に乗ってきますが、ほとんどが一斉にスマホを取り出して、夢中になって見えています。サラリーマンや仕事からの帰りの男女も、電車のドアが開いた途端に空いている席に飛び込み、スマホが始まります。何をみているのかとそっと脇から眺めて見ると、大抵はゲームです。

これは「車中文化」と言えるとおもいますが、その歴史を辿れば、一時はお化粧をしている女性が目立ちましたが、今はスマホです。サラリーマンたちは、やっと仕事から解放されて、「やれやれスマホでも」の貴重な時間かもしれません。また、幼児の手を引いて乗ってくるおかあさんは、早速スマホを取りだして、情報を探しているのでしょうか？手をつないでいる幼児が母親に語りかけようとしているのに知らん顔。

車両は物理的には限られた空間ですが、そこにいる人々のための共通空間であり、自分一人が占領できる空間ではありません。そこは互いにそれとなく気付かい合うことが求められる場です。足の悪い人がいたら、席を譲るでしょうし、少しでも詰めることができれば、ちょっと動いて、「どうぞ」というかかわりが出てくるのが当然ではないのでしょうか？スマホによって占領された場は、他者と何の関係もない侘しく、他者が触れることのできない孤立した人の場に過ぎないのです。

この現象は電車のなかだけでなく、街のなかでも広がっているように思います。誰かが後ろから自分に声をかけているのか？と思って振り向くと、歩きながら携帯で話している人だったり、狭い道路ではしばしばスマホを見ながら歩いてくる人にもぶつかりそうになったりする経験を持っている人も少なくないでしょう。いつの間にか、自分のことに集中して、他者に気遣わない、他者の存在が当たり前になっていますが、そのことに気がつかない人々が日本社会の中で増えているのでは？と感じています。

### いのちのかかわり

自分自身のいのちにも、他者のいのちにも関心を持たない社会では、老人の孤独死が起きたり、小さく弱い「いのち」がいつの間にか単なるモノになってしまう状況を生みだすことになっているのではないのでしょうか？「いのち」への無関心は、どこかでこどもの虐待や老人の孤独死が起きていても、他人事で済んでしまっていないでしょうか？しかし、この状況はただ個人のレベルだけではなく、列車や大型バスの大事故のように、いのちを最優先に考えなければならない社会的レベルでの「いのちの軽視」になっているように思います。

現在、親密な個人的なかかわりが避けられたり、少なくなっているために、一人一人の「いのち」の尊さを忘れて起こる現象や事故が少なくな社会が、より人間的で暖かい社会を取り戻すことが、わたくしたち一人一人に求められているように思います。

### ボランティアとして

「いのちの電話」は、今の社会が失いつつある人と人のかかわりを、電話を通してもっと大切にしようと呼びかけて活動しています。その多くは、病気で苦しんでいる人、自分の将来が見えなくて苦しんでいる若者、職場での人間関係や問題に悩んでいる人などなど、内容としてほとんどは重い話が多いのですが、電話を担当しているボランティアは、一つ一つ、一人一人の訴えを忍耐強く、誠意を持って聴くことを大切にしています。

無償のボランティアとして、ほとんど自己負担で参加していますし、電話の内容も上に述べたように、決して軽いものではありません。それにも

拘わらず、すでに20年、30年と続けてきているボランティアが少なくありません。彼らが、このように長い間この活動を継続している背景には、「かかわりの大切さ」の実感があります。他者を通して自分自身にも直面させられるからです。決して一方的に「聴いてあげた」のではなく、そこに他者の存在、しかも本音でかかわろうとしている他者、そして同じく本音でかかわることにより、他者にかかわることの大切さを実感できる時間を持つことができるからです。「いのちの電話」のボランティアであることを通して、自分の生き方が変えられ、他者とともに生きることが、どれほど自分を豊かにしてくれたかわからないくらい感謝している、そのようなボランティアがほとんどだと思います。このような他者とのかかわ

り、出会い、共通体験の豊かさは何にも増して価値ある「いのち」の体験ではないでしょうか。

人と人とのかかわりが中心になっている場やボランティア活動は、「いのちの電話」ばかりでなく、他にもいろいろと広がっています。日本社会のなかで、このように多方面に亘ってボランティア活動が増えていることはうれしいことです。そのような活動に携わることによって得た体験は、確実に一人一人の家庭でのかかわり、子どもたちや周囲の人々に影響を及ぼすことになっているのではないのでしょうか？そして、日本社会が少しでも子どもたちのいじめや、幼児の虐待、老人の孤独死などがなくなる社会になっていくための影響を与えているのではないかと自負しています。

## 2017年度 相談員募集のご案内



いのちの電話(東京)は、1971年以来、24時間休みなく活動しています。困難や危機にあって、誰ひとり相談できる人もなく、自殺などのさまざまな精神的危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見出すことを願いつつ、よき隣人として活動しています。日々たくさんの電話をいただいています。少しでも電話がつながりやすくするためには相談員を増やすことが欠かせません。一緒に活動しましょう。ご応募をお待ちしています。

### <応募手続き>

- ・応募資格……22歳～65歳(2017年4月1日現在)電話相談を担当できる心身の健康を有する方
- ・募集期間……2016年8月1日～10月31日(必着)
- ・募集人数……約40名
- ・提出書類
- ① 申込書(ホームページより)
- ② 自己形成史……履歴書ではなく、これまでの人格形成に影響を与えた人、出来事にふれつつ自分自身の歴史を書いてください。3,200字以上～4,000字以内(名前明記のこと)
- ③ 志望動機……800字(名前明記のこと)
- ④ 申込手数料(通信費を含む) 3,000円をお振込みください。振込手数料はご負担をお願いいたします。  
振込先: 郵便振替 00130-2-629059「社会福祉法人 いのちの電話」
- ・提出先……必要書類と共に、郵便局の手数料振込み領収書をお送りください。  
送り先: 〒102-0071 飯田橋郵便局留め「2017年度 電話相談員養成研修」

### <選考>

- ・第一次選考……書類審査
- ・第二次選考……面接及び適性検査(面接の日時・場所は該当者に通知します)
- ・面接……2017年1月21日(土)、22日(日)
- ※審査結果についてのお問合せには応じかねます
- ※いただいた個人情報は選考以外の目的には使用しません。

### <2017年度51期養成研修実施予定>

#### 【日程】

研修期間: 2017年4月から1年半。その後Ⅳ期(インターン期)。  
毎週火曜日19時～21時30分。

#### 【受講料】

40,000円(各期10,000円)。合宿(1回)参加費 約30,000円は別途。  
※理由に関わらず受講料の返還には応じられません。

#### 【内容】

- ・実習 グループ学習、スーパービジョン、宿泊研修、担当実習
- ・講義予定 「いのちの電話の歴史と使命」、「いのちの電話のボランティアとは」、「電話相談理論」、「危機介入への対応」、「心の病といのちの電話」、「死生観」、「ボランティアの倫理とルール」、「社会福祉制度」など

※詳しくはホームページをご覧ください。

相談員  
募集

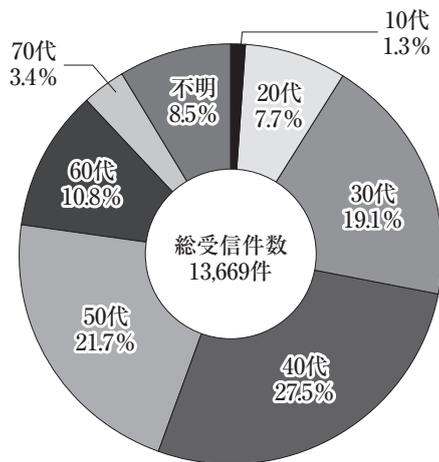
# 2015（平成27）年 7月～12月

## ■電話相談

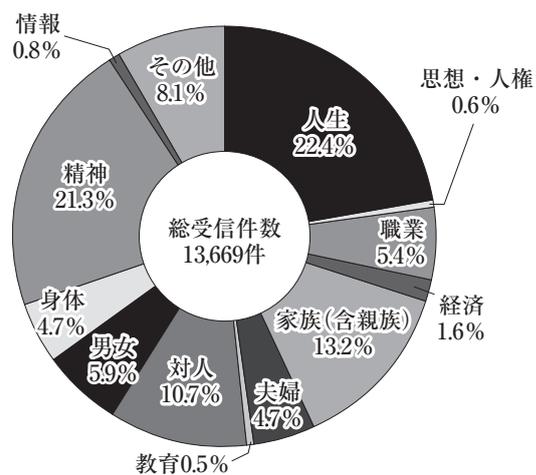
2015年度下半期(7月～12月)の電話相談は、13,669件(男性5,853件、女性7,816件)であった。相談内容については、心身の不調や家族を含む対人関係、生活困窮など複数の問題を抱え、この先に希望が持てないと訴える相談が多く寄せられた。

自殺傾向：17% 平均通話時間：30.1分

<図1>電話相談年代別件数



<図2>電話相談問題別件数

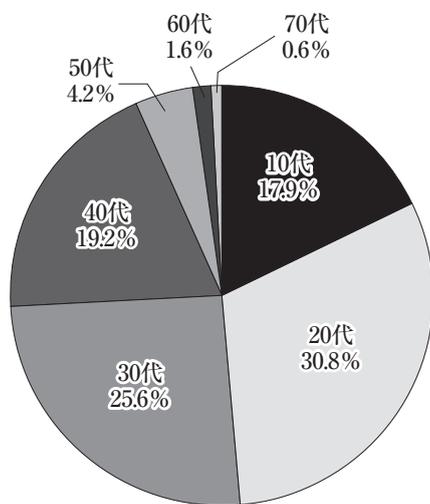


受信件数	17
自殺傾向数	2
自殺傾向率(%)	16

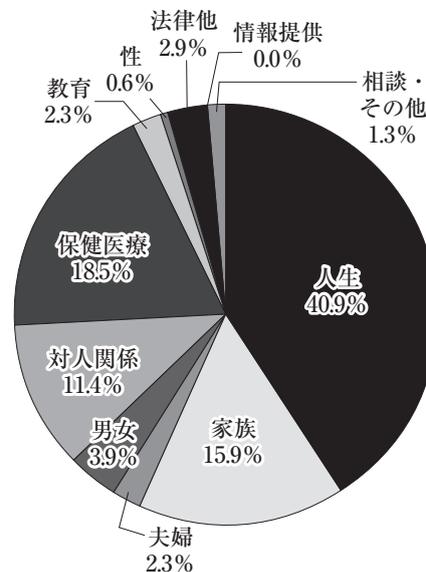
## ■インターネット相談

当センターで運営している「インターネット相談事業」は、盛岡、仙台、新潟、埼玉、川崎、愛知、奈良、愛媛、福岡の9センターとの協働により実施している。下半期の相談受信件数は実施センター全体で1,509件(男性478件、女性1,031件)、内東京センターで対応した相談は308件(男107件、女201件)であった。自殺傾向率は48.3%と昨年平均より4.2ポイント上昇した。また相談を利用した年代は開局以来10代～30代の若年層が7割以上という傾向が続いているが、下半期は特に10代が3.2ポイント増加した。

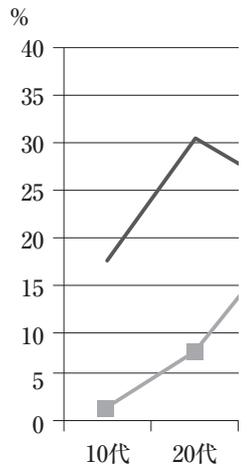
<図4>インターネット相談年代別



<図5>インターネット相談問題別

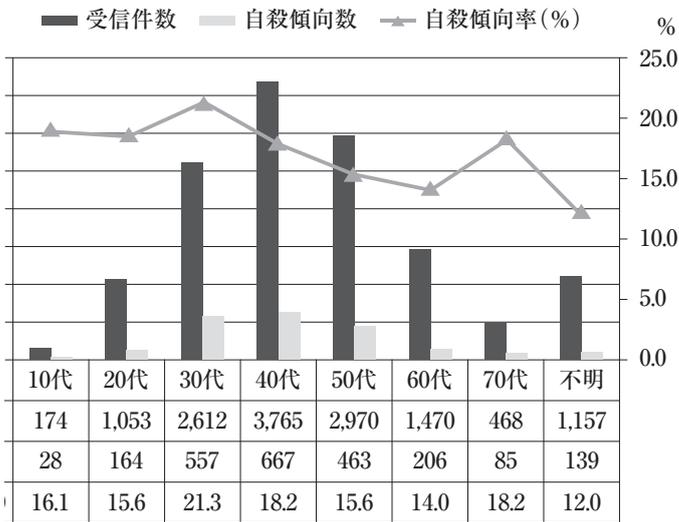


<図6>

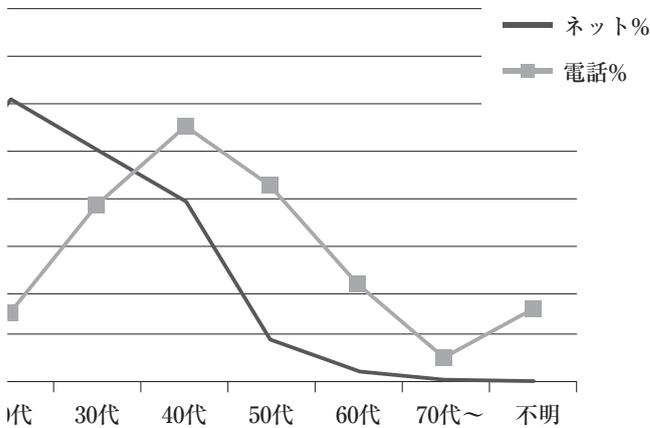


# 相談実績

＜図3＞年代別受信件数と自殺傾向率



6＞電話相談とネット相談利用者の年代別比較



## 柳田邦男先生のお話をきいて

4月16日にいのちの電話後援会主催でノンフィクション作家の柳田邦男先生の「言葉の力、いのちの支え」～自分を明日につなぐ物語を～テーマに講演会が行われました。

私たちの活動は、受話器の向こうにいる相談者を支えることです。その仲介は言葉です。

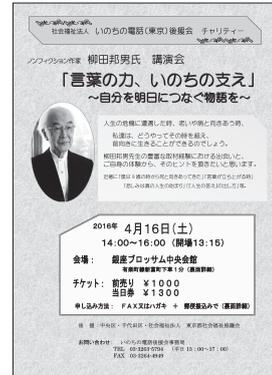
どのような言葉をどんなふうに伝えたらと、絶えず心を砕きながら電話の向こうにいる相手に対しています。柳田先生のお話しの中で「これ以上おちないように、ハンモックのように柔らかく支える。」という言葉聞いたとき、あ、その通りだ、と合点がきました。

柔らかく支える、とても暖かい言葉です。

電話を受けている時、あらゆることに絶望し苦しさを吐露する相談者に対し、言葉をなくすことがあります。どんな言葉も見つからず言葉つまり、ただただ無力感が襲います。相談活動なんて無意味なのではないか、と自信がなくなります。しかし今日は、先生のお話しでとても励まされました。先生はケアの心得として、その人の人生のドラマに限りない興味と愛を持つこと、言葉に敏感であること、をあげられました。また、フランクルの言葉として「あなたが人生に絶望しても、人生はあなたに期待することをやめない。生きることそれ自体に意味があるだけでなく苦悩することにも意味、しかも絶対の意味がある。」と紹介されました。

私たちの活動ひとつひとつは小さいですが、その人へのかかわりとして、その人の物語に心と耳を傾け、その人生の文脈の意味を浮かび上がらせるお手伝いができたら、と改めて思いました。言葉で心の状態を確認し、今が人生の中でどんな意味を持つのかを整理する機会になると信じたいと思います。そしてこれからも暖かい気持ちで「あなたがこの大切な時期をどんなふうに生き抜こうとしているか期待しています。」と伝えていこうと思います。

私自身、人生の時雨の時期となり「浜までは海女も蓑着る時雨かな」の俳句はとても身に沁みました。2時間のお話はとても充実した時間で、けじめのある最後まで自分らしい生き方、を自問する良い機会になりました。(相談ボランティア)



# ご支援ありがとうございます

2015年10月1日より2016年3月31日までに、下記の皆さまから暖かいご支援をいただきました。  
一同深く感謝申し上げます、ご報告いたします。(敬称略)

**企業・団体・宗教法人・学校など 7,764,971円**

愛知製鋼株式会社	6,000	興和株式会社	16,000	長瀬産業株式会社	16,000
アルプス電気株式会社	30,000	国際ソロプチミスト日本財団 東京一広尾	50,000	日産労連リック局	200,000
一般社団法人昭和会館	300,000	CBC株式会社	16,000	日新製鋼株式会社	13,000
一般社団法人生命保険協会	300,000	新日鐵住金株式会社	140,000	日鉄住金物産株式会社	16,000
一般社団法人全国地方銀行協会	50,000	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	485,000	日本電気株式会社	30,000
一般社団法人不動産協会	50,000	JFE商事ホールディングス株式会社	16,000	パナソニック株式会社	100,000
伊藤忠商事株式会社	16,000	JFEスチール株式会社	90,000	阪和興業株式会社	16,000
稲畑産業株式会社	16,000	住友商事株式会社	16,000	東日本電信電話株式会社	100,000
岩谷産業株式会社	16,000	生命保険協会東京都事務室・東京都協会	100,000	富士通株式会社	40,000
沖電気工業株式会社	10,000	双日株式会社	16,000	富士電機株式会社	150,000
兼松株式会社	16,000	大同特殊鋼株式会社	6,000	丸紅株式会社	16,000
株式会社神戸製鋼所	23,000	玉の肌石鹼株式会社	500,000	三井物産株式会社	16,000
株式会社日本製鋼所	3,000	蝶理株式会社	16,000	三菱電機株式会社	100,000
株式会社博報堂	50,000	TDK株式会社	30,000	三菱商事株式会社	16,000
株式会社日立ハイテクノロジー	16,000	東京スポーツ新聞社	100,000	ミヨシ石鹼株式会社	500,000
株式会社村田製作所	30,000	東京ロータリークラブ	100,000	森田会	20,000
株式会社八重洲口会館	50,000	トビー工業株式会社	4,000		
株式会社淀川製鋼所	3,000	豊田通商株式会社	16,000		
ウエスト東京ユニオン・チャーチ	20,000	日本キリスト教団荻窪教会	10,000	日本キリスト教団島居坂教会	20,000
お告げのフランシスコ姉妹会久我が原修道院	10,000	日本キリスト教団柏教会	10,000	日本基督教団東京府中教会	3,000
カトリック東京大司教区松原教会	10,000	日本キリスト教団亀戸教会	10,000	日本キリスト教団西片町教会婦人会	5,000
カトリック徳田教会	50,000	日本キリスト教団上富坂教会	5,000	日本キリスト教団野方町教会	8,000
ケベックカリタス修道女会本部修道院	10,000	日本キリスト教団経堂緑岡教会女性の会	5,000	日本キリスト教団原宿教会	5,000
サレジオンシスターズ守護の天使修道院	1,971	日本キリスト教団経堂北教会	50,000	日本キリスト教団聖ヶ丘教会	3,000
シャルトル聖パウロ修道女会管区本部	10,000	日本キリスト教団銀座教会	5,000	日本キリスト教団ひばりが丘教会婦人会	5,000
宗教法人カトリック東京大司教区	50,000	日本キリスト教団泊江教会	10,000	日本キリスト教団松沢教会	10,000
宗教法人聖書友の会	5,000	日本キリスト教団三軒茶屋教会	10,000	日本キリスト教団松戸教会	3,000
宗教法人聖心会聖心会本部	30,000	日本キリスト教団下谷教会	20,000	日本キリスト教団目白町教会	5,000
宗教法人林海庵	100,000	日本キリスト教団信濃町教会・婦人会	10,000	日本キリスト教団弓町本郷教会	5,000
静勝寺	20,000	日本キリスト教団石神井教会	70,000	日本キリスト教団弓町本郷教会教会学校	10,000
浄信寺	30,000	日本キリスト教団白鷺教会	5,000	日本キリスト教団弓町本郷教会女性の会	10,000
聖ドミニコ宣教修道女会東京修道院	2,000	日本キリスト教団巣鴨ときわ教会	3,000	日本キリスト教団代々木上原教会	20,000
聖パウロ女子修道会本部管区長	10,000	日本キリスト教団洗足教会	10,000	日本キリスト教団霊南坂教会	10,000
聖母奉献修道院	3,000	日本キリスト教団相愛教会婦人会	5,000	日本ナザレン教団中野教会	10,000
聖路加国際病院ボランティアグループ	50,000	日本キリスト教団玉川教会	5,000	日本バプテテスト連盟茗荷谷キリスト教会	10,000
日本キリスト教団麻布南部坂教会	5,000	日本キリスト教団千歳船橋教会	10,000	日本ルーテル教団東京ルーテルセンター教会	30,000
日本キリスト教団井草教会	20,000	日本キリスト教団田園調布教会	10,000	無教会新宿集会	30,000
日本キリスト教団和泉教会	10,000	日本キリスト教団東金教会	10,000	無原罪聖母宣教女会管区長	10,000
日本キリスト教団江戸川教会	10,000	日本キリスト教団戸山教会	30,000	メルセス会高円寺修道院	5,000
青山学院高等部	40,000	コドモの園幼稚園	30,000	東洋英和メサイアをうたう会	25,000
青山学院女子短大同窓会	10,000	小雀保育園保護者会	10,000	雙葉中学高等学校	20,000
青山学院初等部	30,000	彰栄学園宗教委員会	10,000	普連土学園宗教部宗教委員会	20,000
青山学院中等部	10,000	女子聖学院	69,000	三鷹小鳩幼稚園	50,000
青山学院幼稚園	30,000	日本聾話学校信仰教育係	13,000	むさし小山教会教会学校	6,000
青山学院幼稚園保護者会	50,000	聖学院幼稚園	20,000	明治学院高等学校	10,000
暁星小学校シャミナード会	30,000	聖心インターナショナルスクール	10,000	明治学院中学・東村山高校	30,000
学校法人香蘭女学校	50,000	清泉女子大学総務課	10,000	横浜雙葉学園レジーナ会	15,000
学校法人南山学園	10,000	双百合幼稚園	2,000	代々木教会付属シオン幼稚園	5,000
学校法人立教学院	10,000	東洋英和女学院中等部・高等部母の会	30,000		
学校法人立教女学院	50,000	東洋英和女学院小学部母の会	32,000		
いのちの電話後援会	2,000,000				
物品寄付					
玉の肌石鹼株式会社		ミヨシ石鹼株式会社		味の素ゼネラルフーズ	
株式会社エイワ		ジャパンロイヤルゼリー株式会社		他	
ソロプチミスト東京一広尾		ローズ産業株式会社			
その他、書き損じはがき、未使用テレホンカード等多数ご寄付いただきました。					

\*ご芳名の記載もれや誤字などがございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

個人 3,563,220円

相川 喜久枝	宇賀治 みや子	川北 かおり	坂入 操子	鈴木 慰	寺本 満枝子	藤野 貴子	森本 芳正
相澤 一代	牛田 具保	川島 恵美子	酒枝 義輝	須藤 友枝	得居 かつ子	藤光 純一郎	八木橋 惇夫
相野谷 鷹子	宇田川 セイ	川島 亮	崎岡 雪枝	セイゲンジ ヨシアキ	徳川 信子	布施 恵美子	八畷 和夫
青木 節子	内田 恵子	河田 静子	桜井 こう朗	田井 順之	富岡 真理子	船田 文継	八島 満紀子
青鹿 博明	内野 明臣	川中子 信子	櫻井 奈保子	高倉 公朋	富沢 みよ子	古屋 千鶴子	安田 はるみ
青野 幸子	鷗沼 裕子	川村 多津子	桜井 元雄	高桑 佳子	友田 直人	古屋 英彦	安田 展久
青山 由美子	浦田 素子	瓦崎 八重子	桜内 芳郎	高嶋 昭子	豊川 千穂	穂積 みゑ子	柳坪 正子
赤司 美江子	浦部 忠久	神田 千冬	佐古 一久	高嶋 ひさ	豊嶋 良一	細田 満男	矢野 敦子
赤津 孝子	江野沢 和枝	神田 伸枝	佐合 信子	高島 倫子	内藤 昭治(ちよみ)	堀江 久雄	山縣 博
秋月 満子	江幡 清彦	菅野 美和子	佐合 祐治	高瀬 幸子	永井 邦昌	堀江 弥生	山岸 啓一
秋月 満智子	江平 清	木内 和子	高月 幸枝	永井 健一	仲 里路	堀川 尚武	山口 公成
秋山 豊	大枝 東樹	菊池 洋子	佐々木 彰子	高橋 喜久江	中 邦	本藤 育子	山崎 順子
明峯 明子	大川 佳子	北川 俊夫	佐々木 雅彦	高橋 廣見	中 島 桂子	前田 幸一	山澤 寛子
浅井 清	大久保 節子	北川 暁子	佐々木 由利子	高林 利夫	中島 潤子	前田 道子	山下 恵子
朝居 健	大崎 百合子	北島 柳子	佐藤 健	高岡 恭子	中島 千晶	前田 美代子	山下 節子
芦川 弘道	大竹 信子	北村 篤生	佐藤 智子	田野 喜仁	中塚 令子	前田 啓子	山田 怜
足立 房夫	大谷 幸代	吉川 梅子	佐藤 典子	田久保 静雄	仲野 裕三	真壁 玲子	山田 妙子
安達 良元	大多和 豊(喜美子)	木村 隆昭	佐藤 尚子	竹内 嘉男	中村 清純	真木 恵子	山中 哲也(淳子)
安達 禎男	大塚 和夫	木村 文治	佐藤 寛朗	竹口 きよせ	中村 多喜子	牧志 功子	山本 喜美江
熱海 道代	大月 実	木村 美智子	佐藤 ヒロコ	竹崎 長	中村 方子	牧原 和美	山本 巖夫
荒木 保子	大槻 弥栄子	木村 裕子	左藤 浩子	竹島 元一	中村 喜子	増岡 久美子	山本 多賀子
有賀 彰子	大鍋 みさお	木山 昭栄	佐藤 敦子	竹田 和子	中村 喜子	町田 健一(千鶴子)	山本 雅江
飯島 庸江	大野 拓也	吉良 爽	塩原 洋光	タケナカ カズヨ	仲元 達雄	松尾 武司	山本 正子
飯塚 朝夫(定代)	大浜 光子	國井 美子	塩山 英子	竹縄 妙子	生木 ヨシミ	松岡 享子	湯浅 寿夫
家田 莊子	小笠原 悦子	熊谷 敏子	重原 正明	竹山 怜子	並木 浩一	松下 早苗	湯川 富士子
石井 幸子	岡田 公枝	熊谷 和重	重山 宜毅	多田 文代	成田 喜恵	松永 恒文	油木 富貴子
石井 三智子	尾形 婦志子	熊倉 ハルミ	穴戸 信次郎	多田 若子	鳴海 直子	松村 百合子	横河 一規
石田 市子	岡田 光穂	熊田 延枝	篠崎 八恵子	田中 敦子	西川 秀夫	松本 大	吉川 はるみ
石田 清子	岡村 伊久江	熊野 剛雄	篠原 富喜子	田中 篤	西田 宏子	真野 正子	吉崎 哲
石田 千栄子	岡村 多希子	小池 多喜子	篠原 一豊(友子)	田中 カツ子	新田 敦子	黛 蓮葉	吉田 靖
石田 好子	岡本 普史	小泉 まさ子	柴田 文夫	田中 公子	沼倉 美智子	三上 郁夫	吉田 保信
石塚 泰二	尾川 公子	小泉 洋子	島 美枝	田中 邦子	野口 善延	美甘 逸子	吉田 栄夫
石原 晶世	奥津 信一	小泉 良子	島田 恒	田中 純子	野辺地 きみ子	三島 瑞子	吉松 和哉
石原 恵子	小熊 禮子	桑折 啓子	島田 正輝	田中 啓雍	榎本 信一(恵子)	水谷 昭代	依田 恭子
板垣 昌樹	奥山 章雄	小堺 三千代	嶋田 裕(大子)	田辺 裕子	長谷川 倫子	三角 洋一	和木 祐一
市村 晴子	小倉 充夫	小崎 和代	島袋 直子	谷村 春樹	八村 研三	溝端 美恵子	渡瀬 トモ子
伊藤 満子	大栗 ますみ	顧 哲夫	清水 裕子	田和 恭介	八村 悠紀子	三村 徳子	和田 敏明
伊藤 英子	小高 富美子	後藤 嘉代	東海林 敦子	塚本 迪子	服部 洋	南 正一	渡辺 純子
伊藤 誠二	小田切 弘子	小林 邦彦(凌子)	神宮字 剛	佃 寿子	服部 ひろ子	峰岸 順二	渡邊 秀夫
伊東 嘉子	小田島 毅	小林 茂男	末木 千代	辻 聡子	花塚 一弥	峯岸 ひさ子	渡部 実知子
犬尾 順子	小野口 美知子	小林 成子	菅野 早苗	津田 充寿	馬場 謙一	宮内 乃枝	渡邊 義郎
犬塚 靖子	小野寺 裕子	小林 誠三	菅原 裕子	津田 宏	土生 恭子	宮崎 秀雄	渡辺 瑠璃子
井上 恭一	傘木 弘之	小林 敏好	杉田 美貴子	土屋 かほる	早川 治子	宮崎 美枝子	渡部 真美
猪野 喜良	梶永 富美枝	小松 寛之	杉山 のり子	ツチャ ジュリ	原島 三郎	三輪 恵子	和田 幸也
今村 恭子	柏原 保久	小谷津 孝明	椋山 房子	津村 有紀子	樋口 浩子	三輪 千代子	匿名 30名
入江 寿賀子	梶原 茂子	紺野 信子	鈴木 馨	湊元 みさお	広瀬 徹也(恭子)	村井 富美子	後援会有志
入江 建久	片山 知子	斎藤 友紀雄	鈴木 幸四郎	鶴田 典子	福井 田鶴子	村上 聖子	どろんば工房
入川 敦子	加藤 直之	斎藤 敏	鈴木 榮	出口 智子	福井 朝子	村上 由香	
岩佐 ゆき子	加藤 良子	斎藤 敏	鈴木 敏介	照内 真知子	福井 眞一	村山 七郎	
植田 奈津子	門倉 春子	斎藤 洋子	鈴木 浩子	寺嶋 啓介	福田 恵美子	森 佐紀子	
上田 紀子	門野 豊子	佐伯 幸子	鈴木 美香子	寺田 美智子	福山 清蔵	森田 健二	
上原 七司	金山 良雄	酒井 ミツエ	鈴木 幸子	寺沼 宏	藤田 禎	森本 富士子	

ご支援をお願いします

いのちの電話は相談員の無償の奉仕で支えられておりますが、24時間365日電話相談を受け付けるには、研修費、広報、事務費、借室料など年間約3,000万円の運営費が必要です。その運営費の大部分が皆さまからの尊いご寄付に頼っております。ご寄付には個人、法人ともに税制上の優遇処置もございます。ご支援よろしく申し上げます。

☎ 寄付振込先

(郵便振替)

00140-3-162972  
社会福祉法人 いのちの電話

(銀行振込)

三菱東京UFJ銀行 神保町支店  
普通口座 1084827  
フクイノチノデンワ



# 東京いのちの電話 後援会

後援会は、いのちの電話開局一年後(1972年11月)に、財政面を支えるために結成されました。以来、支援者・支援団体の開拓、チャリティ事業などの活動を続けています。チャリティ事業は、活動資金を得る目的とともに、いのちの電話の活動を多くの人々に知っていただくために行っています。

2015年度は、7月2日に銀座ブロッサムにてチャリティ映画「英国王のスピーチ」を上映、10月31日に東京ルーテルセンターにてチャリティバザーを行いました。

また、2016年度の活動として、去る4月16日に、ノンフィクション作家、柳田邦男氏の講演会「言葉の力、いのちの支え」～自分を明日につなぐ物語～を行いました。

柳田先生が会ってこられた沢山の方々の人生の物語の中から、危機に際して、なお前向きに生きておられた方の実例をあげ、心の混沌状態に言葉が果たす役割、すなわち「語ること、表現すること」の意味と、それを傾聴することによってケアする大切さなど、まさに「いのちの電話」の活動にふさわしく、そのまま、私達ボランティアの励みとなるお話を伺いました。多くのお客様が、熱心にメモを取りながら傾聴され、「自分のつらかった体験や、周りの方の悲しい体験に照らし合わせて考えた。自分の場合はどう乗り越え、周りの人にはどう助けになれるかと参考になった」など、多くのご感想、ご好評を頂きました。

ケアする人の心得として示された、「人の人生のドラマに限りない興味と愛をもつ。言葉に敏感になる。」は、傾聴活動に直接関わる者だけでなく、良き隣人として生きようとするすべての人の指針となるものではないでしょうか。

「いのちの電話」の活動が一層充実したものになりますように、今後とも後援会へのご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

## ☆今年度(2016)活動予定

- 恒例チャリティーバザー：10月22日(土) 10:30～13:30  
東京ルーテルセンターにて



## いのちの電話後援会

連絡先；TEL 03-3263-5794

FAX 03-3264-4949

社会福祉法人いのちの電話内

## いのちの電話

ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください。

24時間

[電話相談]

**03-3264-4343**

(24時間受付)

自殺予防 [毎月10日は、フリーダイヤル]

**0120-738-556**

毎月10日8時から翌朝8時まで(24時間・無料です)



[インターネット相談] <https://www.inochinodenwa-net.jp/>

東京いのちの電話 検索

[東京いのちの電話ホームページ] <http://www.indt.jp/>

2016年度  
社会福祉法人 いのちの電話【東京】

発行人：宍戸信次郎  
TEL：03-3263-5794(代)  
FAX：03-3264-4949  
印刷：(有)牧場印刷

この広報誌は、共同募金からの  
配分金で作りました。

